

1	会議名	平成 29 年 第 13 回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	平成 29 年 9 月 27 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分	
3	開催場所	2 階 特別会議室	
4	出席委員	委員長 西村 宏 委 員 廣田 登志子、村尾 利勝、牧中 マリコ、佐倉 弘之甫	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 山口 妙子 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 宇佐川 武子 周東支所長 : 岩崎 幸子 錦支所長 : 岡 至教 美和支所長 : 浜川 智也 教育政策課長 : 重岡 章夫 学校教育課長 : 守山 敏晴 文化財保護課長 : 三浦 成寿 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 原田 広子 中央図書館長 : 中本 佳孝 科学センター館長 : 森本 敦彦 教育センター次長 : 新田 和良	
7	会議従事職員	教育政策課 : 光井 国康、沖野 理恵	
8	会議録署名委員	廣田 登志子、牧中 マリコ	
9	議事日程		
	日程第 1	会議録署名委員の指名について	
	日程第 2	報告第 11 号	所管事項について
会議の概要 西村委員長	・ただいまから平成 29 年第 13 回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、廣田委員と牧中委員にお願いします。本日の議題は、「報告第 11 号 所管事項について」以上でございます。それでは、日程第 2 「報告第 11 号 所管事項について」を議題といたします。これについては協議会形式で進めたいと思います。それでは、各担当部署からは、先に配布しております行事予定表について補足等があれば、説明をお願いします。		
由宇支所長	・8 月 25 日開催の「おいも若きも『ゆうあい子供食堂』」ですが、参加人数 95 人と順調に増えておりまして、毎月 1 回定期的に開催予定となっております。		
玖珂支所長	・8 月 4 日から 7 日にかけて開催された第 39 回全国少年ホッケー交流大会について、台風の影響で 1 日早めに終了したのですが、玖珂の女子チームが見事全国第 3 位という好成績を収めましたことを御報告いたします。10 月 1 日に「第 5 回広島カープ交流イベント玖珂町ふれあい野球教室」の開催を予定しております。参加される広島カ		

佐倉委員 玖珂支所長	ープOB会の皆様が18人。北別府学さん、阿南準郎さん、小林誠二さんなどです。 ・山崎隆造さんもですね。 ・そうですね。18人の方が玖珂に来られます。皆様お時間があれば是非お越しください。
美和支所長	・8月19から20日にかけて「ステージテクニカルアカデミーinハーモニーみわ」というのを行いました。ハーモニーみわは文化施設ですが技術スタッフが普通おりません。施設ができた当時から地元のボランティアスタッフでできることはやろうということで、高度なことはできませんが、音響や照明についてできることは、そのボランティアスタッフが行っています。今回は、そういうスタッフがだんだん少なくなっているということから、専門家を呼んで、照明などの技術を学びました。23人という参加をいただいております。それから、本郷山村留学センターの佐古所長は本日欠席しておりますけれども、「9月から留学生20人が全員元気に新学期を始めている。」ということでございます。
学校教育課長	・8月に全国の卓球選手権大会がございまして、玖珂中学校が全国第3位という好成績を収めております。それから、9月は運動会がありまして、大変お世話になりました。小学校は台風の影響で2日ずれたところもありましたが、それぞれ元気いっぱいに行われておりました。10月には中学校の新人大会や文化祭等もございまして、いろんな学校に出かけていただいて、生徒の活躍を見ていただいたらと思います。
教育センター次長	・8月の研修講座には延べ400人の先生方に参加いただきました。また、10月31日の「岩国市・玖南地区小学校音楽会」を皮切りに、11月の中旬にかけて、市内の小中学校の音楽会・合唱祭が開かれます。子供たちの活躍を是非御覧ください。
生涯学習課長	・花いっぱいコンクールについて、平成29年度の受賞一覧をお配りしています。本年度は学校の部が23校と市民団体からの応募がありました。提出書類の審査、現地審査、審査会を経て、受賞一覧のとおり結果となっております。応募団体全てがいずれかの賞を受賞され、記念品を贈呈する予定です。授賞式は11月6日午前11時から本庁6階議会会議室で行います。また、その前後の10月30日から11月10日までの約2週間、市役所4階の展示スペースで写真展を開催する予定としております。どうぞ御覧ください。 次に、「人権フェスタ2017inいわくに」の御案内です。11月21日午後1時からシンフォニア岩国で開催します。そして、「岩国市PTA連合会教育懇話会及び懇親会」が11月22日水曜日に開催されます。教育懇話会は福祉会館で午後5時から開催され、講師は人間関

	係トレーナーの高島大さんです。懇親会は午後6時45分からリビエールへいあんで行われます。後日PTA連合会から御案内があると思いますので、委員の皆様には予定しておいていただきますようお願いいたします。 中央公民館の関係で二点ございます。一点目は、10月から3回シリーズで、小学校就学前後の子を持つ親の講座を「育児・育自 今、私たちできること」をテーマに行います。10月は23日と30日の月曜日にそれぞれ午前10時から開催しますが、30日は「子育てRUN RUN!～学校現場から見る家庭の役割～」と題して、中央公民館第一講座室で廣田委員を講師にお迎えして開催いたします。御都合のつく方はお越してください。二点目は、11月2日木曜日午前10時から「童謡や唱歌を歌って心とからだを元気に！歌い継ぎたい日本の歌」をシンフォニア岩国コンサートホールで開催いたします。指導いただいております廣田先生の呼びかけで参加者が舞台上上がってみんなで歌う場面や松崎三奈子さんによる合唱もあります。コンサートホールならではの声の響きを楽しんでいただけることと思いますので、是非お越してください。
文化財保護課長	・現在、岩国徴古館で企画展「海上自衛隊岩国航空基地史料館出張展」を開催中です。平均すると1日100人を超える入館者があります。
中央図書館長	・10月7日、8日は本庁舎の停電のために図書館システムのサーバーが使えませんでしたので、2日間一時休館をさせていただく予定です。
科学センター館長	・9月23日から10月8日まで「平成29年度岩国市・和木町科学振興展覧会」を開催中です。よろしければお立ち寄りください。
西村委員長	・全体を通して御意見、御質問がある方はお願いします。
牧中委員	・8月27日に開催された岩国民俗芸能まつりに行ってまいりました。太鼓や踊り、神楽など12団体がそれぞれの地域に受け継がれてきた民俗芸能を披露されていました。中でもひととき大きな拍手と歓声が上がっていたのが、北中山こども神楽の舞でした。子供たちのかわいらしさと一生懸命さに笑顔のまま涙があふれるような感動を頂きました。伝統文化や伝統芸能を伝承していくことは、御苦労もあり努力を要することだと思いますが、人と人とのつながりや世代間交流を大切にして、地域に誇りと愛着を持ち、次の世代へ伝えていってほしいなと思いました。大変すばらしい催しでした。 そして、今月は中学校の体育祭に3校と小学校の運動会に2校行かせていただきました。印象に残ったのは、開会式に出席させていただいた西中の校長先生のお話です。スローガンの「結」、結ぶという漢字の意味で、『結』という漢字には、人と人とが助け合う、仲間という意味もあります。』というお話でした。生徒たちは、競いながらも仲間を思い助け合い一つになれたのではないかなと思います。

	小学校は悪天候のため開催が延期になりましたが、前日準備ができず、当日の朝、先生方と多くの保護者が万国旗やテントを立てたそうです。校長先生が出勤されるよりも前に、5時半頃からグラウンドの白線を先生が引いておられたという話も聞きました。運動会で子供たちが頑張っている姿はもちろんですが、先生方が頑張っている姿を見させていただきました。特に、子供たちが演技をしている間の担任の先生の笑顔がものすごく印象に残りました。演技が終わった後の子供たちとの様子を見て、日々熱心に指導されていることが伝わってきました。大変うれしい激励訪問となりました。また、保護者や地域の方々からも、いろんなお話を聞かせていただき、御意見も頂きましたので、追って担当課に報告させていただきます。
西村委員長 廣田委員	・ほかにありませんか。 ・花いっぱいコンクールですけれども、23校ということで、出だしは振るいませんでしたが、担当課の努力のおかげでたくさんになってよかったと思います。昔と違って花壇の面積もだんだん狭められて小さくなってきているようすけれども、華やかな花壇コンクールということではなく、花を植えることで心を耕すという精神をしっかり培っていただいて、小さい花壇でもいいのでできれば全員が応募できるようになるといいなと思っております。いずれにしても、たくさんの学校の応募があつて本当におめでたいことだと思っています。御心配でした。また、美和支所のステージテクニカルアカデミー、これは以前からその地域の者で音響や照明をやるというふうにしておりまして、それがまだ続いているということで、大変すばらしいなと思います。23人の参加者の年齢層はどうなっていますか。技術を持った方が高齢になってきて衰退しかけたこともあったと思いますが。
美和支所長	・若い方もいらっしゃいましたが、中高年の方が多いかなという状況です。若い人というのはまだまだちょっと難しいところがあります。ただ、中高年といってもバリバリ働いていた方で、田舎の重要なパワーですので、中高年の方を中心に力をお借りしてやっていきたいと思っております。
廣田委員	・自分たちができるところを専門的な技術を磨きながら、こういうふう運営していくということで、美和はすばらしい取組をしておられると思います。それから、科学センターについて、夏休み中は日頃と違う展示や内容が用意されていたかと思いますが、夏休み中の利用状況はどうでしたか。親子連れが来たとか子供たちが来たとか、どうでしたか。
科学センター館長	・夏休みに入る前と比べて、親子連れや子供たちが友達と一緒にとい

廣田委員	うのが非常に目立ちました。通常であれば放課後の時間帯に寄ってくれる子供たちも、7月の夏休みに入ってから、例えば午前中からとかお昼の早い時間からとか、そういった利用が非常に目立ちまして、さすが夏休みだなという感じがしております。夏休み中にも科学教室や子供向けの研究相談を開催したのは、非常に意義深いことだなと評価しております。 ・科学センターや図書館は子供たちや地域の方たちにとって身近に感じてほしいというところで、もう少し駐車場があって建物がしのぎやすいものになったらいいなと思いながら、いつも見えています。 最後に、先ほど牧中委員からも運動会の話がありましたけれども、体育祭は本当に立派でした。中学生すごいですね。本当に自主運営というか小学校とはまた違う、自主性を前面に出したすばらしい運動会になったと思います。小学校も大規模校、小規模校と行かせていただきましたけれども、小規模校においては、幼保も一緒になって、地域の方も参加して盛り上げたり、卒業した中学生がテープ等の補助に来ていたり、本当に総合的な行事になっているなとうれしく思いながら見させていただきました。
西村委員長 村尾委員	・ほかにありませんか。 ・周東中学校の体育祭に行かせていただきましたが、周東中学校は校長先生の挨拶がありませんでした。生徒主体ということで、子供たちに自分たちの体育祭ということを認識させるために、生徒会の代表がその趣旨を告げて、皆で頑張っていこうというふうなはじめの挨拶から始まり、校長先生は顔を出さないような形で進んでいきました。一時は生徒指導困難校ということで荒れていたのですが、今では子供たちがとにかく前向きな姿勢で頑張っているというふうな姿しか見られませんでした。非常に見ごたえがある体育祭であったと思います。本郷小中学校にも行かせていただきましたが、連携教育の効果が非常に出ているなと思いました。校長先生もその辺りの趣旨も含めて子供たちや地域住民の人に説明されていまして、小中合同の運動会ということで、子供たちも「自分たちも地域の一員」という意識を持って本当に熱心にやっていた姿が印象的でした。 それから、今日の新聞にいわゆる常勤の講師が全国的に不足しているというような記事がありました。臨採ですよ。全国でだいたい130人。多い県は福岡県などでハローワークに募集をかけているというふうな現状もあるようです。今までの採用計画がなかなかスムーズにいかなくて、今、大量採用時代の先生方がどんどん辞めていく中、採用が間に合わない状況であるということです。非正規職員と正規職員の給料格差が非常に大きいということも書いてありました。山口県もそういう状況になりつつあると思うんですよ。今、

学校教育課長 村尾委員	岩国市内では何パーセントくらいの割合でいわゆる臨採を採用しているかわかりますか。 ・ 臨採、非常勤、合わせて 100 人近いくらいでしょうか。 ・ 100 人をきるような状況でしょう。岩国市内で臨採も含めてだいたい 940、950 人くらい。その中で 100 人くらいですから割合としては非常に大きいですね。全国的にもそういうふうな 14、15%の数で臨採を採用していると考えています。臨採を採用するほうが財政支出が少なくてすみすからね。そういったツケが、今、回ってきている状況にあると思います。岩国市は、今は定数割れ、いわゆる定数に対して補充できないという状況ではないと思います。ただ、中学校の教科の面で非常勤が足りないという現象も時々生まれてくることがあるでしょう。どのような形で募集をかけているんですか。
学校教育課長	・ 今、年度初めは臨採登録をしていただいて、そちらのほうから利用していくという流れです。年度途中の病休、産・育休等につきましては、その臨採登録で残られた方から入っていただくというのもありますし、年度途中になりましたらその方も働いておられるという場合もありますから、例えば退職者とか以前働いておられた方とか、そういった方々に電話をしながら今の勤務状況を確認してお願いしているというところでございます。
村尾委員 学校教育課長 村尾委員	・ それでもいない場合は全県的に探していただくということですね。 ・ はい。今は大竹や他県とも連携をとりながら、という形になります。 ・ 特に毎年の傾向として、中学校の理科の非常勤の採用が難しいという状況が続いていたでしょう。
学校教育課長 村尾委員 学校教育課長	・ はい。現在そうですね。 ・ どんなですか。 ・ 今はそれで穴が開いているということとはございません。ただ、余剰がたくさんあるということではございませんので、これから例えば産・育休とかそういったことが生じましたら、全県的に対応していく、いろんな方に電話していくということは毎回途中の採用の場合にはしております。今は免許更新という制度がありますから、免許を持っていたとしても、今、免許更新を受けていなくてずっと眠っているといった方もいらっしゃると思います。その場合には講習を受けて入っていただくという形になりますので、その間はちょっと期間が空いてしまうことになります。ですから、免許を持っていいらっしゃるけれどもその講習の間は対応できないということもございます。ただ、今はそうした状況にはなっていません。
村尾委員	・ 例えば、小学校の産・育休で穴が開いて、中学校の免許しか取っていないというときに、臨時免許状、これは 3 年間有効ですよ、これを交付して、それで採用するというふうな形のものはまだありま

学校教育課長 村尾委員	すか。 ・ はい。あります。 ・ 免許状のない素人よりは、中学校の免許状があるという面でやはり信用のおけるような形になるわけですね。今のところ岩国市はそういったことはないようですが、いつかそういう状況になることもありうると思うんですよ。
学校教育課長 村尾委員	・ そうですね。 ・ 今、課長さんが言われたように、免許更新制というシステムになって、65 歳以上になったら免許は失効しますよね。
学校教育課長 村尾委員	・ 講習を受ければ大丈夫です。それで 10 年間。今は特別講師や地域人材を活用した授業、T T（ティーム・ティーチング）などもありますし、いろんな形で対応しているというところですよ。 ・ 頭が痛いと思いますが、とにかく穴が埋まるような形で万全の策を講じていただきたいと思います。
学校教育課長 西村委員長 佐倉委員	・ はい。ありがとうございます。 ・ ほかにありませんか。 ・ 錦帯橋について、今、岩国市も本格的に取り組んでいます。そういう中で岩国市歌を 1,000 人で歌うという非常に壮大な計画をしているわけですが、岩国市の小中学校においては、大きな行事の前には、市民憲章「錦帯橋に象徴される美しいまち岩国・・・」と唱和して、その後市歌を合唱するという形をとったりしています。そんなに時間は掛かりませんし、皆さん方の中でもイベントなどで時間の余裕がある場合には、開会式のときにそうした取組をされたらいいのではというように思っています。特に、市歌は 1 番に「子供たちに夢や希望を与える」というような非常に元気のある歌詞ですし、2 番は「共に学び合おう、共に助け合おう」という、先ほど牧中委員さんからもありましたけれど、本当に皆で助け合いながらやっこうと、そういうことによって、それぞれの地域において、子供たちとお年寄りが一緒になって、まちづくりあるいは村おこしを一緒になってやっていく、そういうことになっていくというように思っております。一番言いたいのは、それぞれの地域で祭りを大事にしていくという姿勢はとても大事だということです。教育者になってそう感じています。行波の神舞や由宇の清水地区の祭り、それから美和でもやっていただいたふたりの桃源郷。これは山口県だけじゃなくて東京でも上映されました。さらに、英語の字幕が入ったのができたということで、日米交流などでも使ってほしいという要望が入ってきたということもあります。そんな様々な取組がまちおこしにつながるという中で、子供たちをどのように取り入れていくかが大きな課題だと思っております。それぞれのところで特色を持ったイ

	ベントをしっかりとやっていただく中で、子供たちをつなげていってほしいということでもありますので、よろしくお願いをしたいと思います。そして、今、職場体験をいろんなところをやっているようですが、科学センターにも来ているということです。機会がありましたら、私もそういう子供たちとも話してみたいと思いますので、時間があれば私にも紹介していただければ大変ありがたいと思います。
西村委員長	・ よろしいですか。学校教育課にお聞きしたいのですが、9月に入って2学期のスタートが始まったわけですが、どうですか。無難なスタートが切れていますか。それとも多少問題が起きているのですか。
学校教育課長	・ 大きなトラブルもなくスタートしております。不登校についても、9月1日が一番自殺者が多いということがありますので、その前から連絡をとるなど丁寧に指導しながらやっていて、いいスタートが切れているのではないかと考えております。
西村委員長	・ もう一点、学力テストですね。結果は出そろってそれぞれ学校に届いていると思うんですが、その全体がどうだったかという概況ですよ。
学校教育課長	・ 学力テストの結果について、だいたい小学校も中学校も県平均はあるということです。中学校は既に県平均を超えていて、小学校は小学校B問題について、県平均をちょっと下回っておりますけれども、おおむね平均にあるということでございます。それから、今、授業については岩国スタンダードということで、目当て、表現活動、理解度ということを行っておりますが、それについての評価も年々上がっている状況です。これは引き続き指導していきたいと思っております。
西村委員長	・ はい。よろしくお願いします。 よろしいですか。ほかにないようでしたら、以上で報告第11号を終わります。 本日の議題は以上です。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・ 次回定例会は、10月24日火曜日、午後2時30分から本庁舎2階特別会議室で開催する予定です。
西村委員長	・ これをもちまして、平成29年第13回岩国市教育委員会会議を終了します。